

尾島 ヴァンダメイ 幸香
(オジマ ヴァンダメイ ユキカ)

—教務主任

—日本語教師養成講座主任



学歴

- 明治大学日本文学科卒業（日本文学士、初等教育2種免許・中等教育1種免許取得）
- ニューサウスウェールズ大学大学院応用言語学修士課程修了
- シドニーにて日本語教師養成講座修了（基礎及び上級編、共に間接法）
- シドニーにて420時間日本語教師養成講座修了（直接法）

日本語教育歴

日本語教育歴は今年で12年目。

- Yappoon State School, Emu Park State School,
Farnborough State School, Coowonga State School
在籍期間：各1学期間ずつ
いずれもクイーンズランドの小学校にてアシスタント&ネイティブ講師
- JCS 日本語土曜学校
在籍期間：半年
日本語を母語としない子どもたちが集められたインターナショナルクラス担任
- Aspect International Language Schools 日本語科
在籍期間：3年
ビギナーからアドバンスまで、グループレッスンからプライベートレッスンまで担当
- The University of New South Wales 日本語科
在籍期間：4年半
オーストラリア内でもっとも日本語学習者数が多い大学のうちの一つにて
コミュニケーションクラス及びファンクショナルグラマークラス非常勤講師
及び専任講師（コースコーディネーター）

－JALC (Japan Australia Language Centre)

JALC の教務主任として日本語教師養成講座（講師、コースデザイン、カリキュラム作成）及び日本語クラス（コースコーディネーター、カリキュラム作成、アドバイザー）を担当

その他の経歴

- －日本国内で塾及び高校において国語科の講師を6年間
- －また日本語教育における各種ワークショップ、学会発表

Q:日本語教師を目指した理由は？

A:最初は特に目指したつもりはなく、日本で国語教育及び学校教育に携わって次第にその業界の全体図が見えるようになってきたとき、もう少し歳をとる前にもっと広い世界も見てみたいと思うようになっていました。そして色々調べているうちにワーホリの制度を知り、中でもオーストラリアは日本語教育が盛んであることから、「国語」を違う角度から見る（＝外国人に教える）という目的に辿り着きました。そのような理由で豪州入りし、日本語教師をしてみたら、そのままこちらの方が面白くなってしまっていて今に至っています。

Q:日本語教師をやっていてよかったと思うことは？

A:長年やっても、かなり頻繁に自分の知らなかった世界を垣間見られること、そのことによって自分自身が常に成長していけることが実感として感じられること、そして世界中の様々な人との出会いが常にあること。

また、純粋に自分の教えたことを学習者が使ってコミュニケーションをとっているのを見るととてもうれしいです。なにより「先生に会えてよかった!」「先生の授業おもしろい!」などと言ってもらえたときに日本語教師をやっていてよかったと思います。

Q:日本語教師養成講座に興味がある方に一言!

A:やってみて損はさせません!

日本語教師になりたい人はもちろん、ちょっと覗いてみたい人まで、特にこれからのグローバル社会に対応していく人物になるにあたって、自身の糧になること間違いなしのコース内容です。

一緒に新しい世界の扉を開きましょう!

私たちは、みなさん一人一人に会えるのを楽しみにしています。